



No.73

2017年 6月1日発行

八王子市民活動協議会だより

市制 100 周年市民提案事業

八王子NPOフェスティバル

NPOを知って、楽しんで、参加しました！

5月は八王子NPO月間 27日の「ユーロードで会いましょう」を
フィナーレにすべて盛況に終了しました

5月27日（土）八王子北口西放射線通り（ユーロード）において、「アイラブ八王子～八王子NPOフェスティバル」のフィナーレを飾るイベント「ユーロードで会いましょう」が開催されました。当日は、35団体がテントやステージでのパフォーマンス、体験コーナー等に出展し、多くの人で賑わい市民活動のお祭りを楽しみました。

昨年から準備してきた市制100周年記念の八王子NPOフェスティバルはこれで1か月に渡る一連のイベントを終了しました。八王子のこれからに向けて、多くの方が市民活動の意義や楽しさ知ってくださった事を期待します。

ユーロードで会いましょう

NPO や市民活動団体が集結！
イベント山盛り！ちびっ子歓迎

市制100周年市民提案事業
平成29年
八王子
100th

わくわく紙芝居サークル
よい子と昔のよい子も集まれ！
楽しい紙芝居のはじまりははじまりです！

法政大学英語研究会
学生による出前寄席！
英語から市民活動まで、
一緒に参加します。

八王子障害団体連絡協議会
八王子障害団体連絡協議会
お手玉やってみよう！
昔からの八王子の
遊び、体験
地域を元気に。

王子お手玉の会
王子お手玉の会
お手玉やってみよう！
昔からの八王子の
遊び、体験
地域を元気に。

西武信用金庫
八王子支店
地域で活躍するNPO
や市民活動団体の活動
を資金面でご支援
させていただきます！

高尾山とどんぐり語り部の会
必見！地図上に示す八王子の昔話、
語り本の販売、楽しい語りの実演。

NPO 法人八王子市民活動協議会
～過去・現在・未来～市民活動を
応援し地域の発展に貢献します。

NPO 法人滝山城跡群
自然と歴史を守る会
行ってみよう！天下の名城滝
～鑑賞試着会もあるよ～

大久保長安の会
近世の八王子を
聞き家歴に天下を取らせ
た総代官とも言われたた
た謎多き長安の謎を解く。

八王子国際協会 / 八王子国際友誼クラブ
八王子国際協会 / 八王子国際友誼クラブ

みんなで作った横断幕
八王子寺田町の子ども達と
法政大学の学生さん達が
八王子NPOフェスティバルの為
に作ってくれた作品です。
Tシャツは法政大学スタッフが
当日に着ていた物です。
保護者や子供仲間と作り
ました。

みんなのカタリバ NPO八王子会議

あなたが語れば
未来が変わる

八王子初！三元中継も大成功

労政会館

小津
倶楽部

南大沢
文化会館



八王子労政会館会場

5月14日（日）八王子NPOフェスティバル
のイベントのひとつ、「みんなのカタリバ NPO八王子会議」が市内3
か所をネット中継して開催されました。基調講演には宇宙飛行士の山崎直
子さん、NPO関係のコンサルも多数受け持つ（株）PubliCoの長浜洋二
さんをお迎えし、総勢160名の参加者と共に市制100周年記念にふさ
わしいNPO八王子会議となりました。



小津会場からの質問を笑顔で聴かれる山崎直子さん

第1部では、宇宙飛行士の山崎直子さんにご登壇いただき、「コミュニティと多様性 ～宇宙ステーションで考えたこと～」と題した講演を八王子労政会館から発信いただきました。宇宙船では、多様な人材が協力し合って任務を遂行することから、正確なコミュニケーション、相互理解、場面場面でリーダーが変わる柔軟性のある組織づくりが大切だったとのお話でした。また、地球に戻ってきて地球のすべてが愛しくなったとのお話は、八王子の多様な側面は、すべて八王子の魅力なのだと感じさせてくれました。

続いて、（株）PubliCoの代表取締役 CEO・長浜洋二さんにご登壇いただき、「その地域課題、本当に解決されていますか？ ～乗り越えろ、コレクティブ・インパクトで！～」と題した講演を南大沢文化会館から発信いただきました。複雑化した地域課題は、個々の団体が協力し合ってこそ解決できるというお話で、私もNPO法人八王子市民活動協議会も中間支援組織として「課題の抽出」「チームの編成」など、まだまだ大きな使命があると刺激を受けました。ビジョン、ミッションを明確化して、NPOと言えどもその先の成果を出すことが大事である事を学びました。



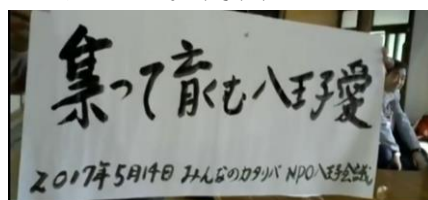
南大沢会場からのご講演される長浜洋二さん

第2部では、会場ごとにまずワールドカフェを行いました。「あなたが語れば未来が変わる」というメインテーマで、八王子のいいところ、残念なところを洗い出し、では10年後の八王子はどうなっていたいか、そしてそのために今からできることを語り合いました。各会場内で3グループ程度の発表を行い、その中から選定された1グループが、次のパネルディスカッションのパネリストになりました。

パネルディスカッションでは、再び3会場を接続し、モデレーターの小室裕美さんによりパネリストの「多様な次世代教育」「多世代のつながり」などの思いを引き出しつつ、会場をまたがって語り合いました。まるで、一緒の場にいるかのような一体感のあるパネルディスカッションとなりました。



最後には、聴講した講演や語り合ったことを踏まえて、今後の100年に向けた思いを「八王子NPO宣言」としてまとめることにしました。小津倶楽部の代表理事、前原教久さんが見事な筆致で「集って育む八王子愛」と書かれた作品が投影され、会場から大きな拍手が湧き、「小津宣言」と名付けられました。（野牧）



その後各会場で懇親会が行われ、カタリバは続き、盛況のうちに閉会しました。

採択された「小津宣言」

南大沢会場の様子

第二会場の南大沢文化会館には、地域づくりに様々な形で取り組んでいる団体や市民・学生など総勢50名近くが参加しました。開始直後は、会場内に併設した「みなみおおさまカフェ」（首都大・南大沢包括）の雰囲気でも山崎直子さん講演をスクリーンを通して視聴しました。続いて、「その地域課題、本当に解決されていますか？」とのテーマで長浜洋二さんの基調講演があり、ワールドカフェはフューチャーセンター虹の会（ゆめおり市民会議 OB）のリードで進行し、「多世代交流」グループの発表を他会場へ発信しました。地域づくりを支える組織としての協議会の存在意義を改めて認識できた NPO 会議の場でもありました。（堀内）

小津会場の様子

里山代表の小津会場は地元色いっぱいの会場です。NPO法人小津倶楽部の方々の大きな心は何でも引き入れてしまう、居心地の良い空間でした。朝一番、無事に中継が進むように、「トトロ」が住むような鎮守様をお願いに行きました。この日を目ざし、使用できるように手を入れて下さった古民家は正に時代を超えた会場として映ったことでしょう。庭で繰広げられた交流会は薪で炊いたご飯、BBQ…で、大盛り上がり。絶品は母ちゃんたちの「てんぷら」（タラの芽・ネギ坊主・山椒やお茶の葉…）、日が落ちるまで楽しみました。この古民家に掲げられた小津宣言「集って育くむ八王子愛」が、この小津の地から八王子の各地に伝播していくことでしょう。（浅野）



八王子の歴史と文化を体感！ まちあるき

5/7
戦国時代の山城
滝山城
徹底ガイド



* 八王子市公認ガイドの滝山城跡群・自然と歴史を守る会の皆さんに、甲冑姿で「続日本 100 名城」の滝山城跡を案内して頂きました。450 年前の戦国時代にタイムスリップしたようなツアーでした。

5/13
祭人になりきる！
八王子まつり
体感ツアー



* 和太鼓やお囃子を体験し、お祭り用品を扱うお店を訪ねたり、夏の八王子まつりを先取りして祭り人になりきりました！



5/21
大久保長安の
八王子宿まち興し
あるき

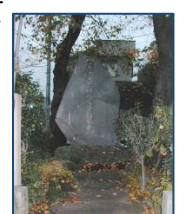


5/20
甲州街道
老舗めぐりツアー



* くちコミ隊と一緒に甲州街道の老舗を巡りながら八王子の歴史に思いを馳せ文化にふれ、八王子の魅力を再発見しました。

* 江戸時代初めの大久保長安のまち興しをテーマに、史跡を訪ねながら八王子宿の始まりを知ることができました。八王子研究団体連絡会・大久保長安の会の皆さんに案内して頂きました。



八王子市民活動協議会定時総会を開催

去る5月18日(木)の午後、西武信用金庫八王子支店2階会議室で開催されました。石井理事長の挨拶に続き、議長として協議会正会員の藤岡一昭氏が選出され議事が進行了しました。平成28年度の事業報告・決算及び平成29年度の事業計画・予算が審議され承認されました。

支援センター事業の「ゆめおりファンド事業」においては、従来の「物」の支援から「人財」の支援への取り組みが本格化し、2団体のサポートを実施しました。協議会の自主事業としては、平成27年度にスタートした活き生きハンドブックの事業が第2刊を発行し、2年目を終えました。平成29年度は、IT化を進め、効率的な運用を図り、ハンドブックの活用により地域のネットワーク化をすすめます。昨年度市制100周年記念事業として準備した「八王子NPOフェスティバル」は5月本番を迎えました。市民の方にNPOを広く知っていただくため多彩なイベントを計画しました。



地域で支えるネットワーク事業を始めます (WAM助成事業の継続が決まりました)

高齢化社会の進展とともに国の医療費は増加しています。国は3年間の経過措置期間を設け、平成30年度から要介護分野は国が管理し、要支援分野と予防的な分野は各市町村に移管する方針を打ち出しました。八王子市もこの方針に基づき福祉総合施策を進めています。協議会はこの方針に沿った活動として、要支援・介護予防的な活動をしている市民活動団体を地域に紹介する「活き生きハンドブック」の作成を企画し、独立行政法人福祉医療機構(略称:WAM)の助成金を得て、政策研究部の絆グループの努力で27年度版、28年度版を発行しました。29年度については更なる発展を期すと共に、この事業の定着化を図るべく所管部門を政策研究部からネットワーク推進部へ移し「地域で支えるネットワーク事業(略称・地域ネット)」として再発足することにしてWAMへ申請しました。情報の更新・拡大とIT化、そして普及のための諸活動を柱に進めてまいります。



活き生きハンドブック Ver.2 を無料配布しています。
(数に限りがあります。)

八王子市民活動協議会だより No.73

2017年6月1日 発行

八王子市民活動協議会(理事長 石井利一)

TEL/FAX 042-646-1626

E-mail: kyougai@shiminkatudo-hachioji.jp

<http://www.shiminkatudo-hachioji.com/>

編集後記

「八王子NPOフェスティバル」が5月27日のユーロードでのフェスティバル「ユーロードで会いましょう」をフィナーレに全て終了しました。市制100周年市民提案事業として市から採択されてから1年かけて準備してきました。まさに「祭りの後」の気分。切り替えて、一層NPO活動の支援となるような活動を行ってまいります。